令和 7年 2月28日

岐阜市少年自然の家(公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団)

岐阜市山県北野2081番地

Tel 058-229-2888

Fax 058-229-2933

E-mail gishizen@he.mirai.ne.jp

URL https://gikyobun.or.jp/gishizen/

ヒノキという木の名前を聞いたことはありますか。この時期になってくると、花粉症の原因として、スギの たと並んで名前をよく聞くと思います。しかし、ヒノキは古くから日本人の生活と結びつきが深く、平安時代 ~鎌倉時代には仏像の材料に多く使われるなど、私たちの生活の中でもよく使われています。今回は、建物や 家具、彫刻など、さまざまなものに使われるヒノキについて紹介します。

ジントノキの様子ジジン





この小さい台形で1つの葉。鱗に似 _{かたち} ている形をしており、鱗片葉という。



おばな めばな かき おばな 雄花と雌花の花期。雄花から かふん と ち 花粉が飛び散っていく。



たがいくしょく は は あいだ **淡緑色で葉と葉の間に** しろいろ じけい 白色のY字形がみえる。



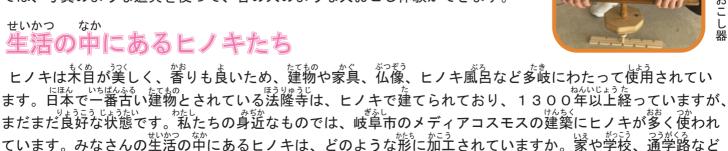
がぶん めばな 花粉が雌花について果実になり、 その後、ひのきぼっくりになる。

なまえ 名前の曲来は?

ヒノキという名前は、「火の木」からきています。これは、昔の人がヒノキの ざいもく 材木をこすり合わせて火をおこしたためといわれています。岐阜市少年自然の家 では、写真のような道具を使って、昔の人のような火おこし体験ができます。

でさがしてみると、意外とたくさん覚つけることができるかもしれませんね♪

せいかつ 生活の中にあるヒノキたち



| まいぎり式火おこし器